

2026 年 1 月 29 日

事務職員派遣事業 参加報告書

所属：総務課／マルチメディアライブラリー事務室

職位：課長／室長

氏名：一宮 啓祥

行先：韓南大学校（大韓民国・大田広域市）

期間：2026(令和8)年 1 月 12 日(月)～1 月 18 日(日)

報告：本学と韓南大学校との事務職員人事交流派遣に関する覚書に基づき、上記の期間に報告者が同大を訪問した。同大とは2021(令和3)年度に国際交流協定を締結して以降、教職員人事交流派遣事業の実施に向けた調整を図っていたところ、今般、先方との調整が完了し、パイロットケースとして本件が実施されたものである。

実施に先立ち、当方から先方に対して以下の内容を研修に盛り込んでもらうよう要望していた。

- 1 キャンパス見学（スマートキャンパスの現状ほか）
- 2 授業参観（特に人文系学部開講のもの）
- 3 グローカル協力室のヒアリング（特に同大における留学生受入れ、定着支援の詳細について）
- 4 中央図書館見学と担当部署ヒアリング（運営ノウハウの吸収、特に選書・除籍方針について）
- 5 内部質保証担当者との面談（韓国における認証評価対応の現状把握）

このうち2と5については調整が付かなかったが、残り3項目については全てご対応いただいた。また当方希望事項以外では、報告者の所属が総務課であったことから、先方総務人事チーム訪問が内容に加えられた。以下、順に概要を記す。

また、期間中に別途実施した書籍購入業務について付記する。

【キャンパス見学（キャンパス革新パークほか）】

- ・韓南大学校は9の学部とこれらに対応する大学院を持ち、キャンパスは報告者が訪問したところを含めて2か所を保有している。
- ・学生数は約15,000人。プロテスタントキリスト教主義の大学であり、学生は週2回の礼拝参加を主とする科目が必修である。
- ・その他短期語学留学生1,200人が在籍し、広大なキャンパスの中に各学部棟が点在していた。
- ・広大なキャンパス内の移動のため、無料の電動キックボードが配備されており運転免許証を読み込み登録することで誰でも利用できるとのこと。



※キャンパス中央「真理自由奉仕」のレリーフ



※チャペルの建物

●キャンパス革新パーク

- ・国・市との共同出資によりキャンパス内に建設、将来的に約 70 の企業の入居を見込んでいる。
- ・これらへの入居企業は、農業分野・生命工学分野・コンピュータ関連・国防分野のほか、AI 等の成長分野の製造事業並びに研究事業を中心に想定しているとのこと。
- ・企業入居用テナントのほか、共同利用施設としての会議室、3D プリンタ工房等の設備が随所に設けられ、事業活動と研究の利便性の確保が図られている。
- ・このほか同大発ベンチャーのインキュベーション施設としても機能しており、既に同大発の学生ベンチャー（製パン業）が事業軌道に乗っている。



※キャンパス革新パークの建物



※屋上からのキャンパス全景

【グローバル協力室・語学堂】

- ・国際交流業務を担当するグローバル協力室と、外国人短期留学生教育の実施機関である語学堂を訪問した。
- ・現在、同大の日本国内の大学・短期大学との交流協定締結件数は 23 件であり、ほぼ全ての大学と実質的な交流がなされている。日本担当として事務職員 1 名が配置されている。
- ・本学としては今後の継続的な事務職員人事交流の受入れ・派遣事業の実施を要望した。2026 年度については先方からの派遣、2027 年度は当方からの派遣として、以後同様のパターンで受入れ・派遣を継続実施することとなる。
- ・同大の語学堂は、現在在籍する留学生数が約 1,200 名で、ベトナムからの学生が最も多い。
- ・期間中、語学堂にて 3 級（中級程度）クラス 16 名（全てベトナム国籍の学生）の授業を見学。講師が基本的に全て韓国語で授業進行しつつも、理解に支援を要する用語（抽象的な単語、時制や品詞名称等）は学生らの母国語で注釈を振っていたのが印象的であった。前例や原則論に拘泥し過ぎることなく、学生の理解促進のために柔軟に対応されている姿勢に感銘を受けた。

【学術情報チーム（中央図書館）】

- ・学術情報チームは中央図書館と別棟のラーニングコモンズの管理運営を担当されている。
- ・中央図書館は蔵書 100 万冊、夙に書庫狭隘化の問題が浮上しており、電子書籍の導入を 20 年前から進めている。現在蔵書の約 2 割が電子書籍であり、教職員・学生の利用率も高いとのこと。
- ・図書の選書については殆どが教職員と学生からのリクエストにより予算消化されるとのことで、利用者ニーズに十分に配慮した選書がなされていることが伺えた。
- ・また除籍図書の選定については、同館の運営細則に過年度の帯出利用頻度等を基準とするガイドラインを設け、これに基づいているとのこと、本学でも今後導入を検討したい。

●図書館の機能性

- ・利用率の向上と既存の図書館イメージからの脱却を図り、各種機能を新設していた。

※閲覧室内にドリンクサーバ（有料）を設置（配架図書を閲覧しながらの飲食を可能としている）

※閲覧室内にバックミュージックを流す

※閲覧室の一部をブロードキャストィングルームとして事前利用登録に基づく利用を認めている（学外者の利用も可能）

- ・別棟のラーニングコモンズは所謂「学習室」のほか、テレビ会議室、更に数脚のリクライニングチェアを配置した「リラクゼーションルーム」を備えていた。これも既存イメージにとらわれず利用者に寄り添った姿勢が現れたものであり、こういった「学生ファースト」の視点は報告者の目には相当に革新的に映った。



【総務人事チーム】

- ・担当職務は大学事務職員の人事・採用・教育、年金・保険、購買（入札・管財）業務等。本学院と比較すると法人規模の違いからか業務は細分化されているように感じた。
- ・担当職員との面談・ヒアリングにおいては、人事管理や労務管理における日韓両国の法令の違い

や現状の業務課題について意見交換した。業務 DX による事務効率化等も相当に進んでいる印象を受け、本学院の参考となる部分も非常に多かった。

【韓国語書籍購入業務】

1/16(金)午後、韓南大学校での研修終了後、釜山広域市に移動し、市内の書店にて標記の業務に従事した。韓国語書籍の購入にあたっては、現物を実見して選書する機会が極めて限られており、また韓国国内大手書店の通販サイトの仕様上、海外からのクレジットカード決済はその手法が極めて煩雑であることから、今般出張を活用して当該業務に従事したものである。

当日は約 3 時間のあいだに全 25 冊、計 4 万 9,500 円を購入した。選書の方針としては、現状の韓国語蔵書のうち特に手薄な社会科学系及び自然科学系をメインとし、更に本学学生の専攻分野に鑑み、いずれについても初学者向け概説書、並びに社会科学系については古典を含む基本的書籍を中心に購入した。今後、本学図書館で利用者の閲覧に供したい。

【所感】

- ・上記の通り同大は規模・施設・体制いずれにおいても大規模総合大学としての体裁を取り、業務ノウハウ等も先駆的且つスケールの大きなものであった。細かな業務手法等は本学でも採用する価値のあるものも多く、また 18 歳人口減少と業界内の競争激化の流れの中で、「**効率化 (AI 活用を含む)**と**発想の転換**により**学生満足度の向上**を強く志向していく**大学運営方針**」は、本学にも大いに参考になると思われる。
- ・そのほか、訪問する各部署の窓口**事務職員**の対応レベル (モラルと規律性)、報告者との面談等の対応をいただいた**幹部事務職員**の**業務知識の広範さとレベルの高さ**には驚かされた。大学として**事務職員**の教育・育成にも莫大な時間と費用を掛けている様子が伺えた。
- ・末筆ながら、今般事業実施に当たり多大な労力を割いて受け入れていただいた韓南大学校、同大グローバル協力室はじめ各受入れ部署の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げたい。併せて今般事業で新たに得た知見等を今後の本学の教育研究活動の促進に生かすとともに、韓南大学校との継続的な**事務職員**の人的交流がなされるよう尽力する所存である。

以上